

番号	住所	地域・寺社	造立時期	高さ(cm)	位置・特徴など
21	佐江戸町2154	東漸寺	文化8年	87	中原街道西側の寺の下、他に4体の石仏あり
24	佐江戸町1800		延宝8年	102	地蔵尊前信号傍の祠の中、地蔵菩薩立像、「奉庚申供養」と記銘
22	佐江戸町2021	無量寺	延宝3年	124	祠の真ん中、地蔵菩薩立像、三猿部分を除くと高さ92cm
	佐江戸町2021	無量寺	江戸時代	72	祠の右側
19	池辺町2361	中谷戸	元禄16年	95	中原街道東側、主尊は地蔵菩薩、祠の中で左に石仏あり
20	池辺町1156	滝ヶ谷戸	江戸時代	58	中原街道西側、他に3体の石仏あり
18	池辺町1205	御伊勢大神宮	文化5年	86	中原街道西側、屋根付き、左隣に鳥居あり
17	池辺町1628	原庭	正徳4年	90	中原街道西側、祠の中で「どんど焼き」の石が左右にあり
42	池辺町2940	星ヶ谷戸	享保12年	82	道路北側の数沢バス停そば、庚申塔の前に造花あり
15	池辺町2296	福聚院	元禄8年	72	寺の境内、主尊は地蔵菩薩、石仏の中の右側から3番目
15	池辺町2296	福聚院	宝永2年	119	寺の境内、地蔵菩薩立像、三猿部分を除くと高さ95cm
14	池辺町2558	藪根	享和3年	69	横浜上麻生線北側でそばに池辺町交番、祠の中で生花あり
16	池辺町2740	八所谷戸	天明6年	57	屋根の下で右隣に双体地蔵尊、庚申塔の前に生花あり
43	池辺町3530	浄念寺	元禄7年	100	子墓の一番左側で道路そば
45	池辺町3064	中里	宝暦2年	51	祠の中で造花と折鶴あり
44	池辺町3122	似津院	江戸時代	166	門前の地蔵菩薩立像の高さ138cm、「奉造志者庚申供養」と記銘
34	池辺町2220付近	八所谷戸	享保16年	102	2218から開戸交差点東側に移設、地蔵菩薩立像の高さは65cm
12	池辺町5486	川内	天保2年	66	地蔵堂内の右側
12	池辺町5486	川内	元禄3年	90	鴨池人道橋そばの地蔵堂内の左側、主尊は地蔵菩薩
13	池辺町4633	川内	江戸時代	66	地蔵堂内の右側、主尊は地蔵菩薩、生花あり
13	池辺町4633	川内	天和2年	114	地蔵堂内の左側、主尊は地蔵菩薩、生花あり

都筑区内の庚申塔

番号	住所	地域・寺社	造立時期	高さ(cm)	位置・特徴など
60	東方町522		宝暦11年	64	折本町との境、祠の中に小像と造花あり
36	東方町1145	源東院	享保3年	44	寺の入口で道路そば、「庚申」と記銘、日月と三猿の浮彫あり
36	東方町1145	源東院	安永8年	90	寺の入口で道路そば、祠の中で右側に寛文年間の仏像あり
37	東方町1023		江戸時代	95	源東院の東側そば、祠の中、青面金剛の唇が赤く塗られている
41	東方町1300	龍雲寺	享保5年	80	境内の菩提樹の左側、祠の中で右側に2体の石仏あり
40	東方町1300	龍雲寺	元禄5年	90	寺の山門の上、祠の中で両側に石仏あり
40	東方町1300	龍雲寺	正徳3年	59	寺の山門の下、主尊は地蔵菩薩、「庚申講同行九人」と記銘
	東方町1300付近	龍雲寺	元禄年間	44	寺の入口で道路そば、祠の中の右隣に堅牢地神の石塔あり
38	東方町1274	東方天満宮	宝暦13年	86	天満宮の下側で道路そば
39	東方町1247	原谷戸	文化14年	71	「再建塔」、そばに天満宮の案内看板とNO61の旧塔あり
	川和町2388	川和八幡神社	宝永3年	86	NO23の移設された庚申塔、周りに7体の石仏あり
27	川和町2388	川和八幡神社	明治24年	92	森講中造営で「庚申塔」と記銘
27	川和町2388	川和八幡神社	安永7年	64	川和公会堂前より2011年に移設した庚申塔
28	川和町1516	川和宿	不明	94	宿講中造営で「庚申塔」と記銘、左隣に「道祖祠」あり
25	川和町2502	都筑ヶ丘	宝永6年	94	横浜上麻生線西側、祠の真ん中正面にあり
25	川和町2502	都筑ヶ丘	安永3年	60	祠の右側にあり
25	川和町2502	都筑ヶ丘	宝暦9年	90	祠の左側にあり
26	川和町2319		嘉永5年		「庚申塔」と記銘、不在
29	川和町1618		享保4年	102	主尊の地蔵菩薩部分の高さ85cm、左側に石仏あり
30	川和町1614		文政3年	95	「庚申塔」と記銘された山伏角柱の高さは59cm
23	川和町81	土腐根薬師堂	宝永3年		唐破風笠付角柱型の庚申塔、不在

都筑区内の庚申塔

番号	住所	地域・寺社	造立時期	高さ(cm)	位置・特徴など
31	茅ヶ崎南4-6-10	自性院	宝永7年	73	寺の入口、左側に5体の石仏あり
32	茅ヶ崎東3-12-1	正覚寺	享保4年	124	屋根の下で左から二番目、典型的な庚申塔
32	茅ヶ崎東3-12-1	正覚寺	延宝6年	77	屋根の下で左から三番目、主尊は地蔵菩薩
32	茅ヶ崎東3-12-1	正覚寺	延宝4年	121	屋根の下で左から四番目
10	茅ヶ崎東2-24-16	茅ヶ崎	明和元年	80	茅ヶ崎城址の近く、祠の中で手前に賽銭箱あり
10	茅ヶ崎東2-24-16	茅ヶ崎	安永7年	57	茅ヶ崎城址の近く、祠の中で左側に地蔵菩薩
33	茅ヶ崎東2-12	茅ヶ崎下	万延元年	68	鬼と猿の距離が近い庚申塔、祠の中、右外に説明碑あり
9	茅ヶ崎中央56	堰の元地蔵尊	寛政12年	69	地蔵尊の右手前にあり、元は正覚寺の裏手にあった庚申塔
51	牛久場東1-2-18	大棚	天和2年	115	祠の中で上部に注連縄あり、左側の祠は馬頭観音
46	牛久保西2-2	牛久保町内会館	天保7年	45	石塔5体の一番右側、「庚申」と記銘された山伏角柱
	牛久保西2-2	牛久保町内会館	江戸時代	60	祠の中で「どんど焼き」の石が前にあり
47	牛久保西3-9-1	長徳寺	宝永4年	112	墓地の一番南側、地蔵菩薩立像、「奉建立庚申供養」と記銘あり
50	南山田1-4-3	斉徳山不動堂	文政6年	55	左側に「歳の神（セイノカミ）」の石碑あり
58	南山田3-26-12	堀之内稲荷	享保7年	53	祠の中で右側に2体の石仏
4	東山田町1252		文政7年	54	「青面金剛」と記銘、中原街道南側、手前に水と花あり
3	東山田町1156	のちめ不動尊	宝永2年	87	祠の中で左側に3体の石仏
5	東山田町1426	東根	明治32年	102	太陽機械（株）の道路側敷地内、「庚申塔」と記銘された自然石
55	東山田2-10	打越谷	正徳元年	81	祠の中、高さは3猿部分の別の石16cmを含む
55	東山田2-10	打越谷	安永6年	45	「庚申供養」と記銘、祠の外の左側にあり
57	東山田町1393	鎌田堂	享保11年	49	12体の石塔のほぼ真ん中にあり、「南無庚申荒神講中」と記銘
56	東山田4-32-30	観音寺	寛文元年	132	6個の石でできている石灯籠、「奉納申神待供養」と記銘あり
48	北山田7-10-4	長泉寺	元禄4年	96	境内の入口付近、そばに3体の石塔あり
49	北山田7-10-4	長泉寺	寛延元年	63	鐘楼横の一番前の石仏
49	北山田7-10-4	長泉寺	安永2年	66	鐘楼横の前から二番目の石仏

都筑区内の庚申塔

番号	住所	地域・寺社	造立時期	高さ(cm)	位置・特徴など
53	川向町151	長昌院	享保年間	96	寺の入口で神社側、右隣に石仏あり
54	川向町356	川向	明和5年	88	阿部商店裏の地蔵堂、堂の前に大きな椿の木あり
54	川向町356	川向	貞享4年	128	阿部商店裏の地蔵堂、主尊は地蔵菩薩、左隣に地蔵菩薩あり
52	川向町44-4	川向	享保9年	116	1966年建立の庚申堂の中、手前に賽銭箱あり
1	大熊町551	大熊	元文5年	112	大熊川下村橋の近く、祠の中に多数の草履あり
2	大熊町526	大熊地蔵尊	天和4年	114	主尊は地蔵菩薩、左右に5体ずつ石仏あり
35	折本町1287	西原	安永7年	46	「庚申塔」と記銘、祠の中に生花あり
59	大榎町496	龍福寺	元禄2年	76	寺の下、祠の中で左側に3体の石仏あり
8	荏田東4-11	渋沢谷	享保12年	96	緑区西八朔町175 極楽寺に移設
8	荏田東4-11	渋沢谷	明治19年	73	緑区西八朔町175 極楽寺に移設
7	荏田東4-35-10	法道寺	元文3年	70	屋根の下で左側に2体の石仏あり
7	荏田東4-35-10	法道寺	正徳3年	138	地蔵菩薩立像、「奉造立庚申供養敬白」記銘部分の高さは34 c m
6	荏田東町4274	矢羽根不動尊	寛延3年	62	屋根の下の右側
6	荏田東町4274	矢羽根不動尊	享保2年	77	屋根の下の左側、地蔵菩薩立像、「奉造立庚申供養」と記銘あり
62	荏田南5-15	柚木谷	元禄15年	95	鍵付きの祠の中、手前の両側に生花あり
11	中川7-7-8	慈眼寺	江戸時代	68	祠の中、寺の駐車場奥側、左隣には地神塔あり

上記の番号は、参照した「神奈川県の庚申塔 # 都筑区の庚申塔」の数字で、上記住所に不在の庚申塔は 8番、23番、26番他に、「東京・神奈川の庚申塔：横浜市都筑区庚申塔」を参照した。